

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)		授業形式					
E111B013		幼児理解と教育相談 (developmental assessment and educational counseling)							対面					
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語	その他に使用する言語	担当形態						
必修	2	2	教育学部 ≪令和2年度以降入学生用≫	後期		日本語		単独						
担当教員	氏名 向井 隆久 E-mail tmukai@oita-u.ac.jp 内線 7557													
授業の概要	幼児理解は、幼稚園教育のあらゆる営みの基本となるものである。本講義では、幼稚園における幼児の生活と遊びの実態に即して、幼児の発達過程において生じるつまづきやこまりなどの要因を捉える為の原理や対応及び援助の方法について基本的な視点を身につける。さらに、幼児の教育相談の事例を通して、教育相談に必要な基礎的な知識及び方法等を身につけ、個別支援、保護者支援、地域の専門機関との連携の意義と必要性について理解する。													
具体的な到達目標							DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7
目標1	幼児の発達の原理・原則について理解し、幼児理解のための基本的視点や態度について説明できる。							○						
目標2	幼児理解のための具体的な方法について説明し、幼児理解や評価に関する意見交流ができる。								○					
目標3	幼児の教育相談について、基礎的な知識及び方法等を説明し活用することできる。										○			
目標4	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法を活用することができる。											○		
目標5														
目標6														
目標7														
目標8														
目標9														
目標10														
各DPへの関連度(計10)								2	2		3	3		
授業の内容														
1	幼児理解の理論 発達をとらえる視点と条件													
2	幼児理解の方法 発達アセスメントの基礎													
3	保育の実践に学ぶ(1)幼稚園観察参加の視点													
4	保育の実践に学ぶ(2)幼稚園観察参加													
5	保育の実践に学ぶ(3)幼稚園観察の分析及び報告													
6	個と集団の関係をとらえる意義や方法・保護者理解													
7	幼児の生活と発達の問題への対応と援助(例:幼児の貧困、虐待)													
8	幼児の教育相談の意義 幼稚園における教育相談の意義と課題													
9	幼児の教育相談の方法(1)カウンセリングの基礎的な知識													
10	幼児の教育相談の方法(2)カウンセリングの基礎的な姿勢や技法													
11	教育相談の事例に学ぶ(1)発達障がいのケースにおける教育相談													
12	教育相談の事例に学ぶ(2)組織的取り組みと、地域の専門機関との連携の実態を学ぶ													
13	幼稚園での保護者理解と教育相談(1)ロールプレイング:発達障がいのケースにおける教育相談													
14	教育相談の事例に学ぶ(3)気になる子どものケースにおける教育相談													
15	幼稚園での保護者理解と教育相談(2)ロールプレイング:気になる子どものケースにおける教育相談													
ラーニングエッセンスグループ	A:知識の定着・確認	○	・実践事例に基づく授業においては、教員の「問い」に対し、自己なら					工夫その他の点	・グループ発表において質問タイムを設けるなどして、グループ相互の意見交流を積極的に促す。 ・LMSを用い、授業で学んだことを発展させる問いを生成して、学生同士で意見交流したり、学んだことの応用可能性を考える。					
	B:意見の表現・交換	○	びにグループで検討し、発表する機会を積極的に設ける。											
	C:応用志向	○	・ロールプレイを導入することで、子ども理解や教育相談に関して、より											
	D:知識の活用・創造		実感を持ったさまざまな気づきを積極的に促す。											
授業時間外学修の内容と想定時間	準備学修	新聞記事(ネット記事含む)や雑誌等を読み、「子ども問題」に関する情報に触れるようにする(12.5h)。幼稚園での観察報告(発表)の準備をする(5h)。教育相談の事例内容を確認し、ロールプレイングの準備をする(5h)。												
	事後学修	授業内で配布された資料や作成したワークシート(毎授業作成)を読み返し復習する(15h)。幼稚園での観察記録をまとめる(5h)ロールプレイで体験した内容について振り返り、教育相談の観点から考察をまとめる。(2.5h)												
	想定時間合計	45												
教科書	特になし(教員が作成する資料を配布する)。													
参考書	・小田豊・秋田喜代美編著「子ども理解と教育相談」東洋館出版社(2021年) ISBN:978-4491043562 ・文部科学省・厚生労働省・内閣府『平成29年告示 幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領 原本』チャイルド本社(2017年) ISBN:978-4805402580 ・文部科学省『幼稚園教育要領解説<平成30年3月>』フレーベル館(2018年) ISBN:978-4577814475													

成績評価の方法及び評価割合	評価方法		割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
	個別小レポート		30%	○	○								
	グループ活動及び発表への取り組み等		30%			○	○						
	学期末課題レポート		40%	○	○	○							
注意事項													
備考		※この科目は『地域創生教育科目』です。											
リンク													
		URL											